



「中小企業の体質強化」と「経営基盤確立」を目指して

平成21年度 和歌山商工会議所事業計画

わが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の同時減速による輸出の減少や円高の影響、個人消費の低迷などにより景気後退局面に直面している。
 当地域においては、当所の景気動向調査からも急速な悪化が起因して業況・採算等先行き不安が鮮明となっており、予断を許さない状況におかれている。
 こうした状況の下で、地域の商工業によって組織される商工会議所は、その機能を十分に発揮し、中小・小規模企業者の経営において活力が得られる各種支援を行っていくとともに、持続的な産業活性化につながる地域振興事業を幅広く展開することが求められる。
 当商工会議所では、これらの現況を踏まえ、実施事業の集中・選択を図り、相談支援業務を一層拡充・強化し、企業の体質強化と経営基盤確立のための環境整備に全力で取り組むとともに、開かれた商工会議所を目指し積極的な事業活動を展開していく。

重点事業

1. 中小企業の体質強化と経営基盤確立のための活動

① 地域力連携拠点・事業承継支援センター事業の実施

小規模企業等が抱える諸課題に対応するための支援活動を行うとともに、将来に向けてスムーズな事業承継が行えるよう、開廃業マッチング支援や後継者育成セミナーの開催、相続税制の個別相談などの実施により、「二層積極的な支援に取り組む。

② 和歌山県中小企業再生支援協議会の運営強化

専門家が中小企業の再生に関する相談を受け付け、助言や再生計画作りなどの支援を行っていく事業であり、今まさに経営環境が悪化しつつある中

中小企業の再生をお手伝いする事業として、従来にも増して積極的に取り組む。

③ 新規役チャレンジ支援事業の実施

低迷する経済状況の中で企業のトータルサポートを行うため、企業OBなどの新規役人材と中小企業とのマッチングを推進する。

④ ジョブ・カードセンター事業の実施

雇用対策関連事業として、就労支援や県内企業の人材確保を支援する。

⑤ 移動経営なんでも相談会の実施「拠点地区集中巡回の実施」(新規)

会員事業所が抱える問題点の掘り起こしや施策普及を図り事業経営のフォローアップを行うため、よりキメ細かい「経営なんでも相談会」の開催や「会場周辺集中巡回」を行う。

2. 明るく活力に満ち、持続力のある地域社会の実現に向けた活動

① 中心市街地活性化への取り組み

地域振興を図っていくためには、全域にその波及効果が及ぶ中心市街地の活性化に取り組むことが肝要であり、市の「和歌山市中心市街地活性化基本計画」が平成19年8月に国の認定を受け、既に本格的な街づくりのための各種事業が随時実施されている。こうした地元の活性化への取り組みを支援していくため、昨年度に引き続き、「中心市街地活性化支援事業」に取り組んでいくとともに、今後の指針とするための「中心市街地における通行量調査」を実施する。

② 農商工連携に係る各種取り組み(新規)

当商工会議所と、JAわかやま、和

③ 「わかやま自慢品」等特産品販売促進の全国展開活動の実施(新規)

当商工会議所認定「わかやま自慢品」等特産品を全国に向けて広く紹介・PRを行い、地元商業の活性化に繋げることを目的に、和歌山のアンテナショップ「喜集館」が入居し好評を博している施設「東京交通会館」において、販売促進活動を展開する。

④ 産業観光やセンチメンタル和歌山の推進による観光振興

観光振興を図っていくため、地元和歌山が誇るトップ企業の見学などの「産業観光」の推進と併せ、人々が和歌山に対して思い描いている癒しや安らぎなどを感じる場所を全国へ発信する「センチメンタル和歌山」について、観光体験バスツアーを実施するなど、さらなる事業の充実を図っていく。

3. 適時・適切な意見要望活動

低迷する経済状況を打破し、魅力と活力ある地域経済社会を構築していくため、部会や委員会での意見をはじめ、地域経済動向(LOB/O)調査や景気動向調査、さらには会員ニーズ

調査等の実施により、管内事業所が抱えている課題や幅広い意見を集約し、日本商工会議所や県商工会議所連合会など関連団体との連携のもと、商工会議所事業の大きな柱のひとつである意見要望活動を二層積極的に展開していく。

4. 組織の強化と財政基盤の確立

① 全職員による会員事業所一斉巡回の実施(新規)

会員事業所の皆様からの率直な声・意見・要望等を各種サービス充実に繋げていくとともに、経営基盤確立のための支援を行うことを目的に、周辺一般事業所の訪問も含め、地域別に会員事業所を毎月全職員で二斉に巡回する。

② 珠算普及啓発事業の実施(新規)

「そろばん体験」の機会を創出する「珠算普及啓発事業」を実施し、「そろばん」が脳に与える効能や機能の素晴らしさを再発見するとともに、珠算検定事業の推進に取り組んでいく。

③ 新会員のつどい「交流懇談会」の開催

会員事業所相互のビジネスチャンスの拡大ならびに当商工会議所の施策普及を図ることを目的に、概ね3年以内の新会員を対象に実施する。